

顛末書

名 称	中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第6回通学・安全部会
日 時	平成30年8月8日(水) 午後6時30分～午後8時10分
会 場	豊田公民館 和室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員 7名 神田正彦、神田茂貞、依田隆夫、金子顕智、中島秀子、寺平絵里奈、池田幹夫 ・事務局職員等 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、久保施設係長、清野指導主事、宮崎主査
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学路の安全対策について (2) バス通学について 4 その他 5 閉 会
主な質問・意見等	<p><通学路の関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在対策箇所としてあがっているものについては、早めに対応してもらいたい。 ●優先順位が高いものから手をつけていただくための方策を考えなければならないと思う。(例として署名活動や議員へ頼むことなど) ●防犯灯の増設についても要望していかなければならないと思う。 ●現在、対象児童がいない行政区についても通学方法の検討をするのか。 →お見込のとおりである。 <p><バス通学関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいバスを通学の時間帯だけスクールバスとして使うのはいいと思うが長電バスについては不安がある。 ●低学年が長電バスを利用するのは少し厳しいのでは。 ●バス停を学校にすることは可能か。 →ふれあいバスであれば可能性はある。 ●1年生が豊田支所まで歩くことが心配。 ●ふれあいバスの時刻変更は可能か。 →可能である。 ●学校行事の場合における下校時間変更の対応はどうするのか。 →行政バスなどで対応を考えている。 ●涌井については親川のバス停まで歩くのは厳しい、中学生でも冬場は歩かせられないほどであるため、スクールバスでの通学がよいのでは。 ●スクールバスにした際、子どもたちの体力低下を懸念している方もいる。

今回のまとめと次
回の検討事項

●通学路の安全対策について

- ・通学路交通安全プログラムにおける継続中の項目について優先順位をつけたうえで実現可能な方策をつめていく。
- ・夏場と冬場の通学についても確認をする。
- ・次回の部会において、新たに防犯灯等の設置要望箇所について検討する。
- ・防犯灯等の設置要望箇所の洗い出しについては、各区からの要望と委員が個々に通学路を確認したうえで設置した方がよいと判断した箇所を結合して決定していく。

●バス通学について

- ・ふれあいバスの利用については時刻等の課題はあるが利用可能である。
- ・バス通学の方法については、各地域の保護者等からもできる意見を聞きながら進めていく。